

(統計史料でみる昭和・平成期【その1】 附録)

# 政府広報冊子における昭和 15 年国勢調査に係る記事

奥積 雅彦 (総務省統計研究研修所教官)

「週報」(昭和 15 年 1940 年 7 月 17 日号) 及び「写真週報」(昭和 15 年 9 月 18 日号) に、昭和 15 年国勢調査の記事が掲載されていたので紹介します。「週報」と「写真週報」は、政府の行う政策の内容や意図を広く一般国民に伝える広報冊子です。

「週報」(昭和 15 年 7 月 17 日号) (抜粋)

(表紙)

(19 頁)

【一口メモ】  
内閣統計局が昭和 15 年国勢調査の概要を解説したものの。内容は、調査の趣旨、調査の時期、被調査者の範囲、調査の方法、申告書の記入方法、世帯関係者(従軍中の軍人・軍属等)、国民の協力、職名表(職名記入上の注意を含む)・指定技能表(※)で、世帯関係者、指定技能表などは、戦時色が色濃くなる中での国勢調査をうかがわせるものとなっています。

【画像】 JACAR (アジア歴史資料センター) レファレンスコード: A06031035800、内閣情報部「週報」第 196 号所収の「昭和 15 年国勢調査について」(国立公文書館) <https://www.jacar.go.jp/>(レファレンスコードでデータベース内検索)

【参考】 国立国会図書館デジタルコレクション (※国立国会図書館/図書館送信参加館限定) でも閲覧可能 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1594853/11>

※特別に熟練を要する職種、養成が容易でない職種など、国が指定する約 120 種の技能について、現在従事している者、潜在能力のある者を調査するなど、内容としては豊富なものでした。この調査では、指定技能表(約 120 種)のほか、職名表(約 430 種)の一覧表を各世帯へ配布し、該当する職種の符号と職名を世帯で記入するという方法が採用されました。その調査結果は、戦時中のため基本的な人口が発表されただけで、昭和 24 年になって報告書として刊行されました。(【出典】: 総務省統計局 HP「国勢調査のあゆみ」>昭和 15 年国勢調査)

「写真週報」134 号 (抜粋)

(4 頁・5 頁)

(6 頁・7 頁)

【一口メモ】  
見出しに「国防国家の建設へ…」とあり、これも戦時色が色濃くなる中での国勢調査をうかがわせるものとなっています。撮影は、梅本忠男氏(報道写真家)です。

【画像】 JACAR (アジア歴史資料センター) レファレンスコード: A06031072900、内閣情報部「写真週報」134 号所収の「国防国家の建設へ 国勢調査も一役 十日一日」、「申告書の方行」(国立公文書館) <https://www.jacar.go.jp/>(レファレンスコードでデータベース内検索)

【参考】 国立国会図書館デジタルコレクション (※国立国会図書館/図書館送信参加館限定) でも閲覧可能 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1896380/6>